

2019年  
(令和元年)

6月18日

(第三種郵便物認可)  
昭和23年4月15日

## 今号の特集

- ▷栄養・機能性  
ドリンク特集 ④~⑤面
- ▷ソース特集 ⑥面

中部飲食料新聞社ホームページ  
<http://chuin.net/>【業界情報発信中】

tabete

国分グループ本社株式会社  
<http://www.kokubu.co.jp/>

第3334号  
発行所  
中部飲食料新聞社

名古屋市中村区名駅5-18-9  
電話(052)571-7116代表  
FAX(052)571-7118

東京支局

東京都中央区日本橋横山町1-4 203  
電話(03)5614-7531  
FAX(03)5614-7532

# 中部飲食料新聞

日本アクセス

## 企業 食品卸 IT化や情報サービスさらに

## 次世代「情報卸」標準

日本コカ×セブン&アイ  
世界初 店頭回収した  
100%使用容器の緑茶

日本コカ・コーラとセブン&アイ・ホールディングスは、「世界初」となる日本コカ・コーラとセブン&アイ・ホールディングスは、世界初となるPETボトルを使つた共同企画商品「一(はじめ)緑茶」を6月14日(月)から順次発売した。この徹底的な取り組みで、日本でも使用済み容器の完全な回収を目指していきたい」と述べた。セブン&アイ・ホールディングスの井坂隆一社長は、「循環型社会の実現は社会全体が取り組まないと不可能。またリサイクルの取組みを実感として見えることも重要で、今回の製品化は大きな意味がある」と述べた。

日本アクセスは「19年度の経営計画・事業戦略」を発表した。近年、人手不足をはじめとした各種コストの増加や、異業種との競争激化、消費スタイルの変化など近年急速に変化する消費者の購買行動に対する影響も大きく変化している。特にスマートやEコマースなど近年急速に変化する業者様及びメーカー様のIT化をお手伝いする情報サービス「プラットフォーム構築」を構築。食品流通業界

想はメーカーと小売業及びITサービス事業者を同社が情報でつなぐも日本アクセスの100%子会社・D&S SOLUTIIONSが「電子レシートやアプリ」「ダイナミックプライシング」「要予測／自動発注(AIサービス)」など各種ITサービスを担う。小売事業者には廃棄ロス削減などに有効な「データ分析による商品のトライアル率やリピート率の分析」などを拾い上げること

でリアルなニーズに対応した品揃え」等でさらなる商品の販売増を図る。また、Amazonマークの成長を支えるIT戦略構想を進める」(佐々木淳一社長)。同構

## 各業界団体の総会・懇親会

## 全国清涼飲料連合会

題については、昨年11月に「清涼飲料業界プラ

スチック資源循環宣言」を行い、PETボトルは3Rの取組みや、欧米などと比べ優れたりサイクル率を誇ることなどをあらためて説明するとともに消費者、政府、自治体、関連団体と連携し、業界が一丸となり2030年までにPETボトルの100%有効利用を目指す宣言を出した。今後も行政、会員、賛助会員などと連携し、同宣言の実行などを共通の公益への対応に努めていく」と述べた。

## 笑顔を届ける音楽会

題については、昨年11月に「清涼飲料業界プラ

スチック資源循環宣言」を行い、PETボトルは3Rの取組みや、欧米などと比べ優れたりサイクル率を誇ることなどをあらためて説明するとともに消費者、政府、自治体、関連団体と連携し、業界が一丸となり2030年までにPETボトルの100%有効利用を目指す宣言を出した。今後も行政、会員、賛助会員などと連携し、同宣言の実行などを共通の公益への対応に努めていく」と述べた。

## キューイー

題については、昨年11月に「清涼飲料業界プラ

スチック資源循環宣言」を行い、PETボトルは3Rの取組みや、欧米などと比べ優れたりサイクル率を誇ることなどをあらためて説明するとともに消費者、政府、自治体、関連団体と連携し、業界が一丸となり2030年までにPETボトルの100%有効利用を目指す宣言を出した。今後も行政、会員、賛助会員などと連携し、同宣言の実行などを共通の公益への対応に努めていく」と述べた。

## 健康に気をつけて

題については、昨年11月に「清涼飲料業界プラ

スチック資源循環宣言」を行い、PETボトルは3Rの取組みや、欧米などと比べ優れたりサイクル率を誇ることなどをあらためて説明するとともに消費者、政府、自治体、関連団体と連携し、業界が一丸となり2030年までにPETボトルの100%有効利用を目指す宣言を出した。今後も行政、会員、賛助会員などと連携し、同宣言の実行などを共通の公益への対応に努めていく」と述べた。

題については、昨年11月に「清涼飲料業界プラ

スチック資源循環宣言」を行い、PETボトルは3Rの取組みや、欧米などと比べ優れたりサイクル率を